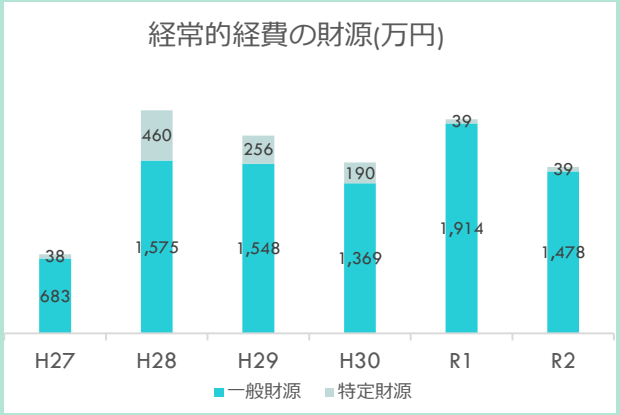
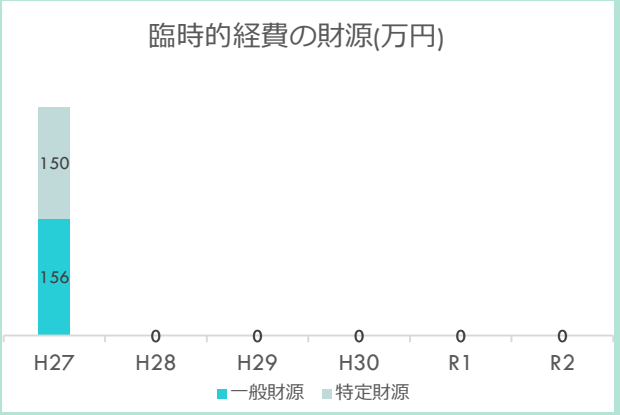
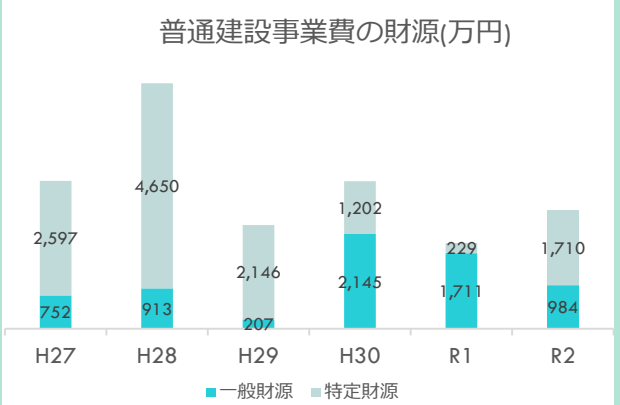
施策04　河川改修・砂防施設整備

建設課



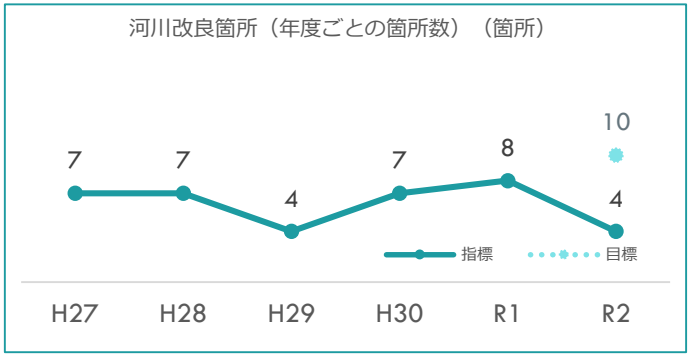


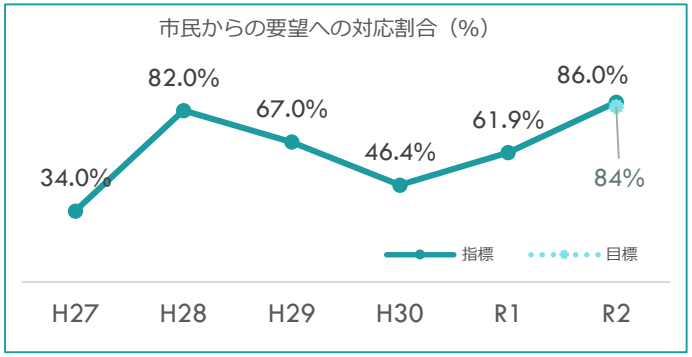


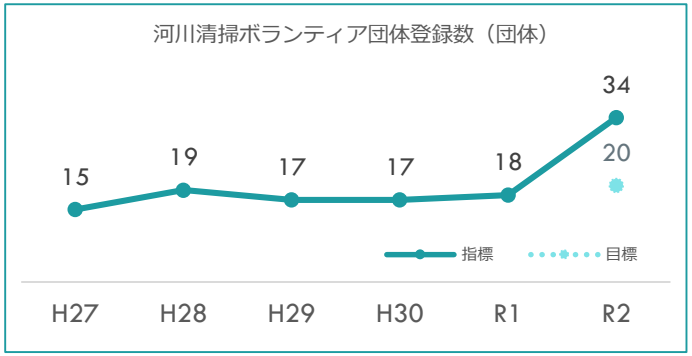
現状と課題

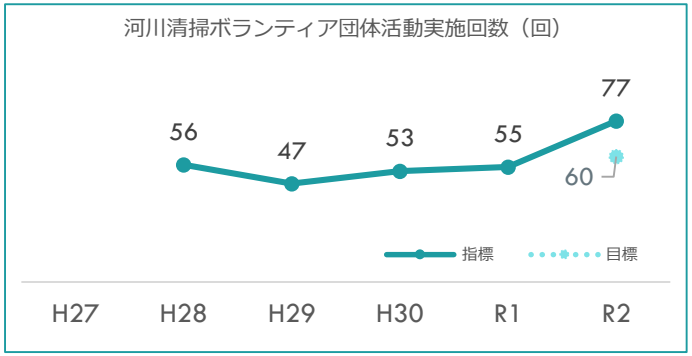
本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮による災害を経験してきましたが、河川、砂防対策を行ってきた結果、一定の効果を上げています。
しかし、河川について、未整備の河川護岸が残っているほか、海沿いの低地では、高潮対策のための水門・フラップゲート（※）等の設置を進めている一方で、内水（※）の排除が引き続き課題となっています。
また、急傾斜地・土石流危険渓流など、土砂災害のおそれのある箇所については、県が区域の指定を行った上で地区ごとに説明会をおこなっています。
今後も、国や県、関係機関連携のもと、河川の浚渫（※）をはじめ砂防対策を推進し、災害に強いまちづくりを進めていく必要があります。
※フラップゲート：河口部の防潮、河川の逆流防止のため設けられるヒンジ式ゲート
※内水：フラップゲートで守られた内側の土地（人が住んでいる場所）にある水
※浚渫：海底の土砂を取り去る土木工事

成果指標









指標の説明・・・
　計画的に整備を進めるため、改良した箇所数と市民からの要望への対応割合について数値化しています。
　河川の維持管理を補完するため、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を実施しており、登録団体数と活動実施回数を指標にしています。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行（万円）	特定財源（万円）	アウトプット（どのくらいの事業や取組を行ったか）	アウトカム（どれだけの成果が得られたか）
計画的な河川浚渫	緊急浚渫推進事業債	市管理河川の浚渫	普通建設事業費	2,263万円	1,940万円	浚渫箇所　N＝12件	浚渫工事により、河川の安全性を確保することができた。
計画的な河川改良	河川改良	市管理河川の改良	普通建設事業費	437万円	—	改良箇所　N＝4件	水流れを阻害しない河川断面の確保
持続的な河川管理	河川管理	市管理河川の支障木伐採	経常的経費	138万円	—	伐採箇所　N＝6件	支障木の伐採により、河川の安全性を確保することができた。
急傾斜地等の整備促進	区域指定を受けた砂防事業を要望	急傾斜事業	—	—	—	急傾斜・砂防要望　N＝5件	砂防事業として、荒神堂川が事業採択された。（採択1件）
県への要望強化	岡山県管理の河川事業を要望	河川浚渫事業	—	—	—	河川浚渫要望　N＝13件	石谷川の河川浚渫を実施したことにより河川の安全性を確保することができた。（採択1件）

施策の評価

一次評価者	役職	建設課長	近年、全国で梅雨前線や台風による集中豪雨により河川が氾濫し、大規模な災害が多発している。大規模な河川改修工事は、事業費、用地買収等で期間が長期化するおそれがある。それに対し、浚渫工事、支障木伐採は土砂、支障木を撤去することにより、通水断面がある程度確保できるので、即効性がある有効な取り組みである。また、土砂災害を防止する急傾斜事業、砂防事業については、岡山県が施工主体として実施していくが、速やかな事業実施が行えるよう、市が地元調整等を行い、し取り組む必要がある。
	氏名	大森　康晴	
二次評価者	役職	建設部長	市管理河川について、改良事業に着手している箇所は、関係者との協議を慎重に行いながら整備を進めてください。又、浚渫、支障木伐採については緊急浚渫推進事業債を有効に活用し、浚渫土砂処分場の建設と併せ進めてください。県管理河川については、岡山県との連携を密にし、改修、浚渫が進められるよう調整を行ってください。
	氏名	淵本　安志	